



2006年10月23日

2 0 0 7 年 6 月 期
第 1 四 半 期 決 算
補 足 資 料

株式会社 構造計画研究所

【本資料についての注意】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

アジェンダ

1. 1 Q決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2. 2007年6月期 通期業績の進捗状況・・・・・・・・ 7

(注) 本資料の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

1. 1Q決算の概要

1 Q決算の概要

単位:百万円

	'06/06期 1 Q	'07/06期 1 Q	'07/06期 (通期予想)	- 対前年同期増減 額 (増減率)	/ 通期業績に 占める割合
売上高	1,091	1,584	10,800	493 (45.2%)	14.7%
営業利益	597	198	1,050	399 (-)	-
経常利益	618	215	950	402 (-)	-
純利益	380	106	550	273 (-)	-

比較損益計算書

単位:百万円

	'06/6期 1Q	'07/6期 1Q	対前年同期 増減額 (増減率)
売上高	1,091	1,584	493 (45.2%)
売上原価	957	1,134	177 (18.5%)
売上総利益	134	450	316 (235.5%)
販売管理費	732	648	83 (11.4%)
営業利益	597	198	399 (-)

➤ 売上高

- 高付加価値サービス提供に向けた、昨年来の取り組みが功を奏し増加いたしました。

➤ 売上原価

- 売上高の増加に伴い増加いたしましたが、生産性向上により、利益率は向上しております。

➤ 販売管理費

- 事業の活性化に伴う人的リソースの有効配置により、営業人員が減少し、人件費が減少いたしました。

比較貸借対照表

単位:百万円

	'06/6期 1Q	'07/6期 1Q	対前年同期 増減額
流動資産	3,656	3,940	283
現金・預金	608	433	174
売上債権	950	1,216	265
固定資産	6,924	7,013	88
資産合計	10,581	10,953	371
流動負債	4,598	4,963	365
短期借入金	3,297	3,345	47
固定負債	3,358	2,846	511
長期借入金	2,320	1,800	520
負債合計	7,956	7,809	146
純資産合計	2,624	3,143	518
負債・純資産合計	10,581	10,953	371

- 売上債権
 - 売上高の増加に伴い増加しました。

- 長期借入金
 - 当初計画どおり、有利子負債は着実に減少しております。

- 純資産合計
 - 利益剰余金増加により、自己資本比率が向上しております。

「一年以内に返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	'06/6期 1Q	'07/6期 1Q
期首残高	303	386
営業活動 C F	762	881
投資活動 C F	2	147
財務活動 C F	1,070	1,076
期末残高	608	433

当期CFの主な内訳

➤ 営業活動によるCF

- 税引前当期純利益 170百万円
- 減価償却費 73百万円
- 売上債権減少 493百万円
- たな卸資産の増加額 694百万円
- 法人税等の支払額 258百万円

➤ 投資活動によるCF

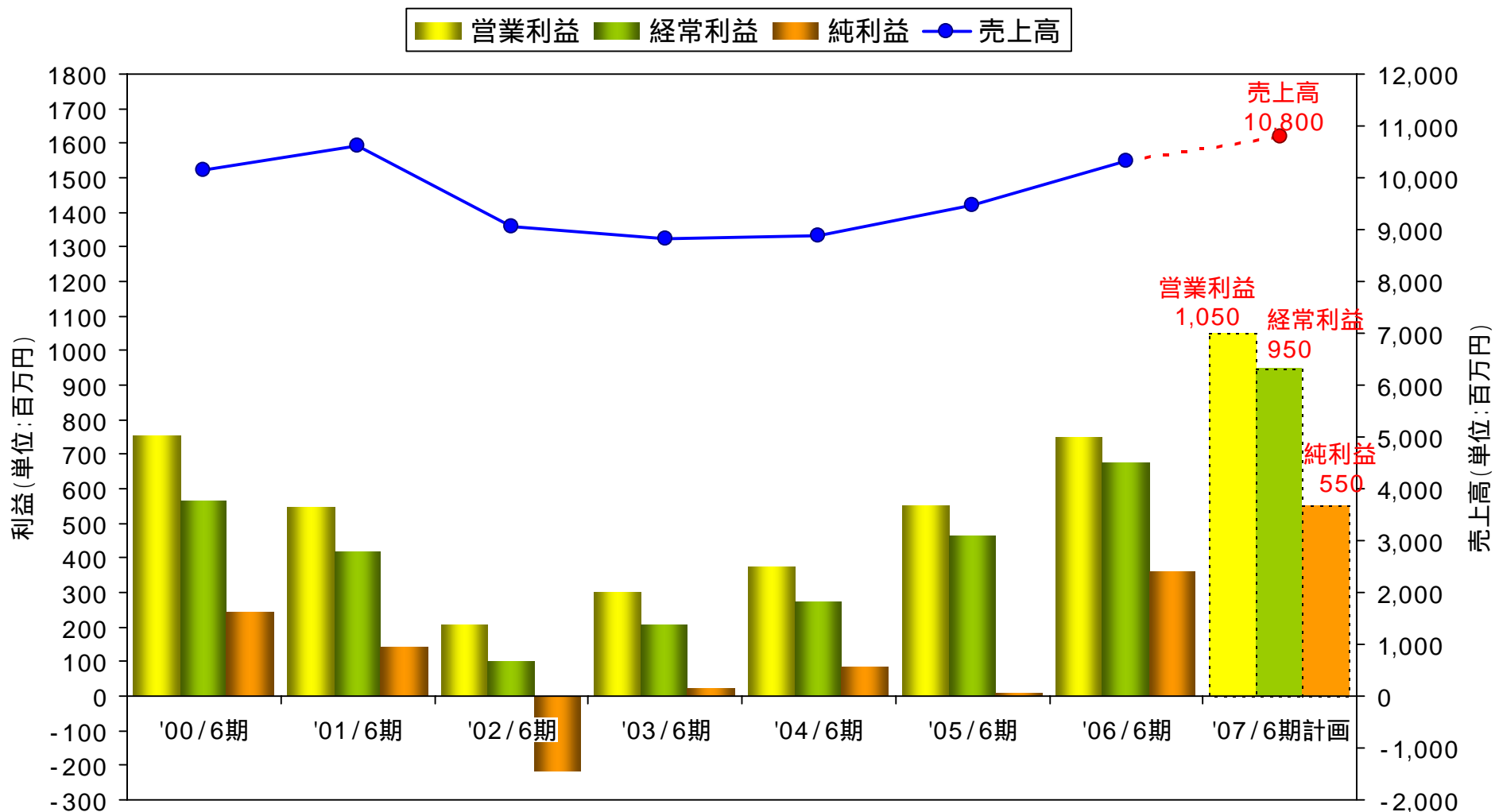
- 投資有価証券取得 148百万円
- 無形固定資産取得 21百万円
- 敷金の減少 30百万円

➤ 財務活動によるCF

- 短期借入金増加 1,500百万円
- 長期借入金の返済 321百万円
- 配当金支払 88百万円

2. 2007年6月期 通期業績の進捗状況

株式公開以降の業績推移及び当期計画（通期）



今後も計画通りの受注確保、およびプロジェクト管理体制を維持していくことで、
当期計画は十分に達成可能であると認識しております。

通期と1Q実績の比較

単位:百万円

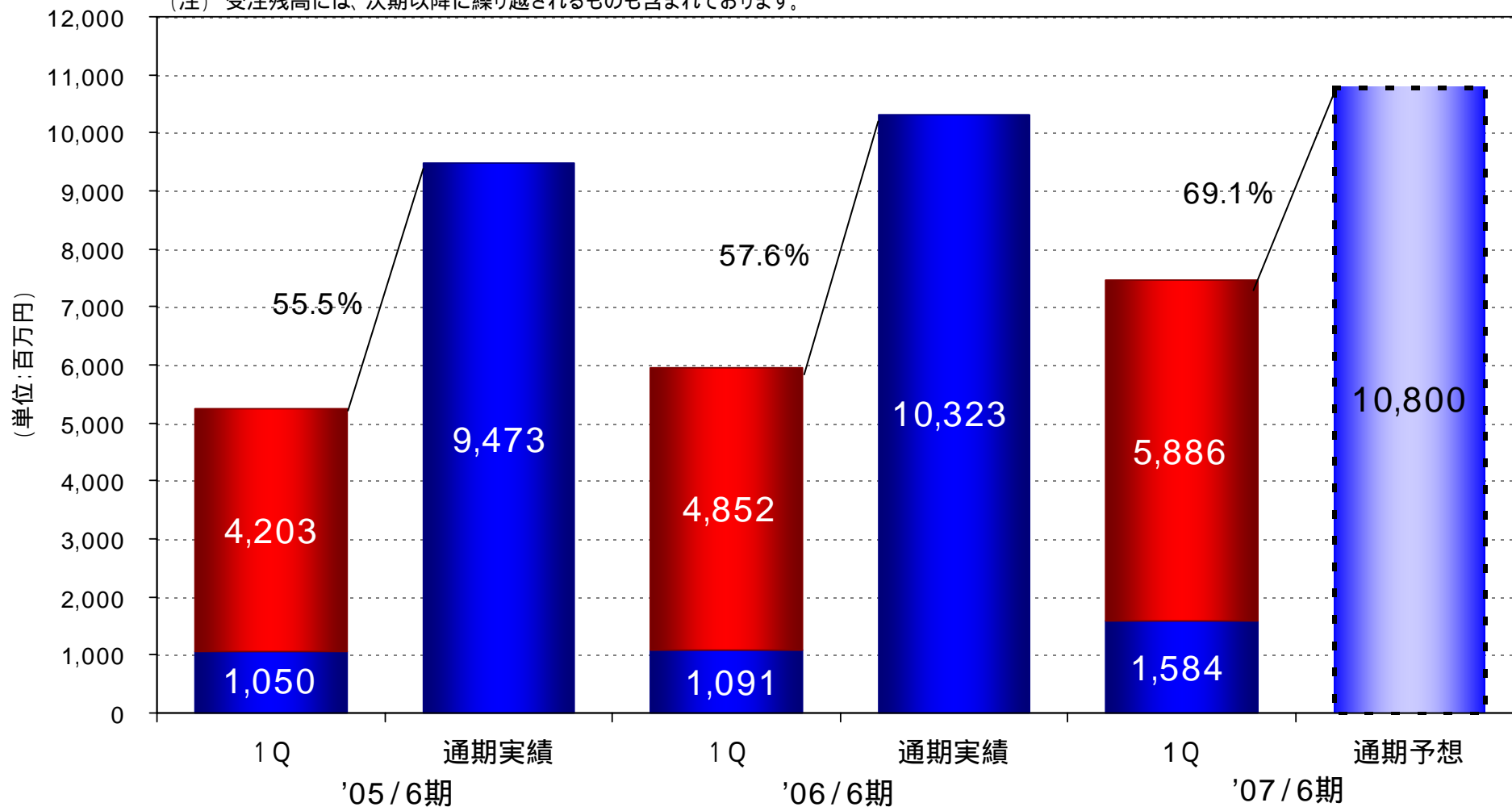
	05/06期		06/06期		07/06期	
	1Q	通期実績	1Q	通期実績	1Q	通期予想
売上高	1,050 (11.1%)	9,473	1,091 (10.6%)	10,323	1,584 (14.7%)	10,800
経常利益	525 (-)	550	618 (-)	676	215 (-)	950
純利益	321 (-)	7	380 (-)	360	106 (-)	550

パーセント表示は、通期業績に占める第1四半期の割合を示しております。

通期売上高に対する1Qの受注状況

■ 売上高 ■ 受注残高

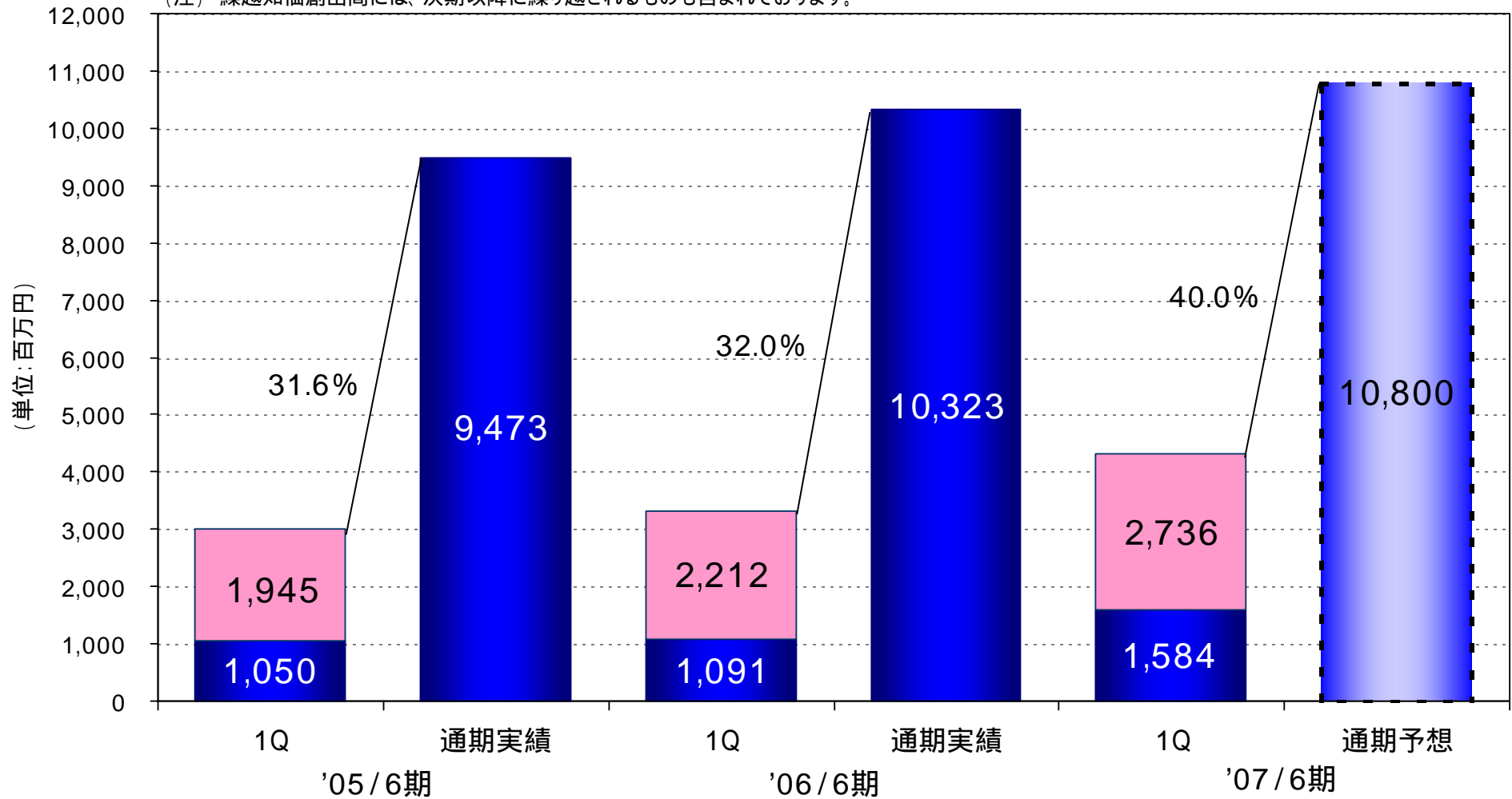
(注) 受注残高には、次期以降に繰り越されるものも含まれております。



通期売上高に対する1Qまでの進捗状況

■ 売上高 ■ 繰越知価創出高

(注) 繰越知価創出高には、次期以降に繰り越されるものも含まれております。



当社独自のプロジェクト管理指標について

システム構築、コンサルティングサービスなど、受注から成果品を引渡し売上計上時まで数ヶ月を要すプロジェクトが事業の大半を占める当社は、業績値の季節変動が生じやすい業態といえます。

そこで当社では、プロジェクトが、どの程度進捗しているのかを金額換算した“**知価創出高**”及びその利益を示す“**知価創出利益**”と称する2つの内部経営指標により、プロジェクトの進捗過程での業績を定量化し、月次の業績管理、計画 / 実績トレースを実践しております。

“知価創出高” : 受注金額にプロジェクトの進捗度合いを掛け合わせたもの

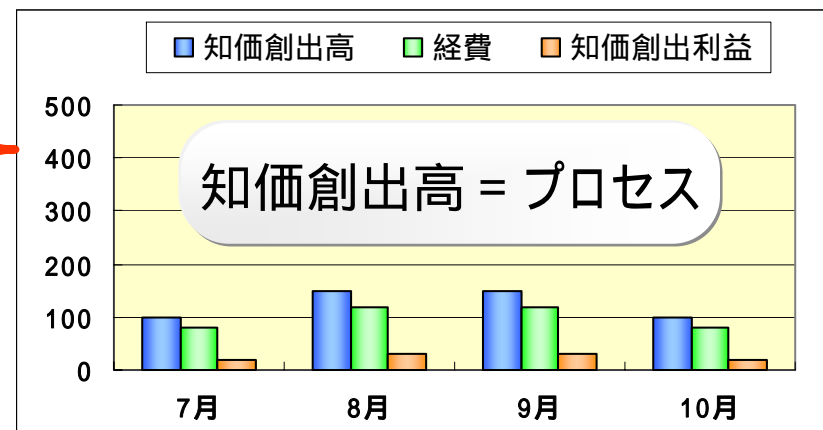
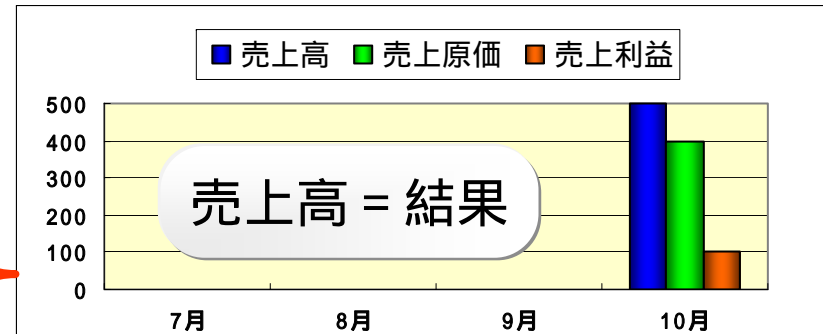
“知価創出利益” : 上記よりプロジェクト経費を差し引いたもの(販管費を除く)

現時点における知価創出利益予測は、計画人件費を基に算出しておりますが、当社では当年度業績連動の賃金制度を導入しているため、年度末においては人件費が変動することにより利益が変動する可能性があることを予めご了承ください。

プロジェクトの業績管理についての参考例

7月に500万円のプロジェクトを受注、10月に納品、売上計上するケース

	7月	8月	9月	10月	合計
受注高	500				
売上高				500	500
売上原価				400	400
売上利益				100	100
知価創出高	100	150	150	100	500
経費	80	120	120	80	400
知価創出利益	20	30	30	20	100



1 Q 繰越知価創出高

1 Q 繰越知価創出利益

月次の知価創出高及び知価創出利益は、上図のようにプロセス管理しており、1 Qに売上計上されなかったプロジェクトの知価創出高及び知価創出利益は、次期繰越として管理しております。

1Qにおける売上高と知価創出高の比較

■ 1Q売上高 ■ 1Q売上総利益 ■ 1Q営業利益

■ 1Q知価創出高 ■ 1Q知価創出利益 ■ 1Q全社知価創出利益

